No.
Date. '26. 9. 16

Capo. 4 ハーフル D

F#

# あの道 あの景色

D Bm G A D Bm G A

D Bm Em A
長い雨がしばらく続いた日々の後で
D Bm G A
いつの間にか夏も過ぎまっていた
D Bm G A
ふと見る遠くの灯り冴えわたり届く
Em Bm G A D
すっかり冷たくなる早い夜の訪れ

Bm Em A Bm
夕闇降りてきた静かに
Bm G A D
誰も通らない抜道
Bm G A D
思い出される あの道
Bm G A D
「また明日」と手を振った

D A Bm G
思い出すことしかできない
Em D Em A
あの道のあの景色の中
D A Bm G
☆ 戻らない時 置き去りにして
G D A D A
心がそのまま止まっている ☆☆

No.
Date.

アスファルトのスキ間からスズメノカタビラが
草刈りした後 元気に伸びていた
ふと見る近くの灯りオレンジに光って
寂しく影を引きずる早い夜の訪れ

秋風の匂いを感じて
胸の奥チクリと痛む気がした
思い出されるあの道
「また明日」と手を振った

あの夏の引き返せない季節
あの道のあの景色の中
今はもう思い出すだけ
並んで歩いたあの道

☆～☆☆